

甲南病院瓦版

たんぱく尿・血尿



腎臓内科 宇津 貴 医師

【 たんぱく尿・血尿 】

健診で尿検査の異常をいわれたことはありませんか？尿は腎臓でつくられて、尿管を通過して膀胱に運ばれ、尿道から排泄されます。そのどの部位に異常があっても尿の異常がでできます。目でみて赤く見える尿（肉眼的血尿）は、がんや活動性が高い腎炎で見られることが多いです。痛みを伴う場合は腎結石を疑います。腎臓の血管の圧迫によって赤い尿が出る場合もありますが、通常この場合は経過を観察するだけにします。尿が赤くないのに検査で血が出ているといわれた方（顕微鏡的血尿）は、慢性腎炎の可能性ががあります。たんぱく尿は、腎臓の糸球体とよばれる部分（血液を濾すところ）の障害によって生じることが大半ですが、その程度によって詳しい検査が必要かどうかを判断します。糖尿病や高血圧によって腎臓の糸球体は障害されますので、糖尿病患者さんや高血圧患者さんは定期的な尿の検査が必要です。たんぱく尿や血尿は、症状を伴わないことが多く、放置されがちです。しかし、慢性腎炎では症状が出たときには病気が進行し透析目前になっているように、知らないうちに手遅れになることがあります。病気の進行を抑制するためには、早期発見・早期治療が必要です。尿の異常を指摘された際または自覚した際は、まず腎臓医内科までご相談ください。

2020年10月5日記